



今年度も残すところあと1ヶ月となりました。この1年で子ども達一人一人、体や表情、行動など色々な面で成長、発達をしています。この時期は進学や進級に気持ちがワクワクして、注意散漫になり怪我の率が高いです。気持ちを落ち着かせて、残りの1ヶ月元気に過ごしましょう。



<3月3日は耳の日です>

耳は、音を聞いたり、体のバランスをとったりする大切な器官です。子どもの耳ならではの特徴を知って、耳を守りましょう。

【耳の病気】

（中耳炎）

中耳炎は鼻のウイルスや菌が耳管を通して中耳に入り炎症を起こす病気です。

・急性中耳炎・

中耳に膿が溜まって耳が痛い、発熱、聴力低下などの症状が出ます。耳をよく触るや機嫌が悪いなどの様子が見られます。

・滲出性中耳炎・

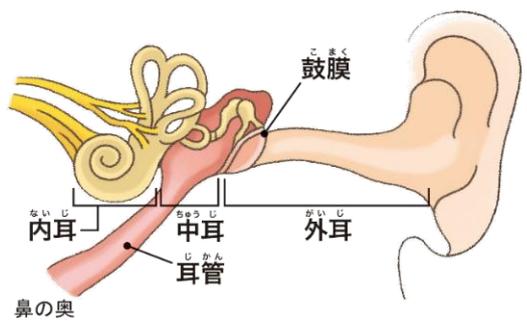
滲出液という液が中耳に溜まって起こる病気です。痛みがないことが多いので発見が遅くなり、聴力低下が進行している場合が多いです。急性中耳炎よりも治療が長引き、完治には数年かかります。

（外耳炎）

外耳の部分にキズがついて炎症を起こす状態。原因は、耳かきでキズつけたり、耳を爪でかいたりして起こります。外耳炎を何度も起こすと、指を耳に入れてかか癖がつくことがあります。耳を触らないように注意しましょう。

（外耳道異物）

耳に異物が入って取れなくなる症状です。大豆やピーズ、小石などの小さいものを耳に入れたり、虫が入ったりすることがあります。



中耳炎の症状



全国ニュースで話題
になっています。

立体シールの誤飲に注意!!

平成レトロの立体シール（ボンボンドロップシール）が小中学生に大流行しています。立体シールは小さくて、可愛くて、触った感触が気持ちよく、大人気なため、偽物や粗悪品が多く出回り、事件になっています。

Q1：立体シールは普通のシールとどう違うの？

A1：普通のシールは殆どが紙にキャラクターや柄が印刷されています。立体シールは表面がプラスチックで中にジェルが入って立体構造になっています。

Q2：誤食したらどうなるの？

A2：シールの中に入っているジェルが体内で吸収される恐れがあります。特に偽物や粗悪品などはシールの中のジェルが正規品より毒性が強い場合があります。

Q3：ジェルが体内に吸収されたらどうなりますか？

A3：湿疹や嘔吐、咳、アナフィラキシーショックなどのアレルギー反応や中毒症状が出てくる可能性があります。

Q4：誤食したとわかったらどうすればいいの？

A4：誤食した場合は、無理に吐かせたり、水分を取らせたりせず、病院へ連絡し指示に従いましょう。

*立体シールは小さい子どもにとって色や形がグミに似ているので口に入れたいくなります。

シール張りを行う時は、絶対に大人が横について誤飲しないように注意しましょう。

**園活動の中でもシール遊びを行っています。（立体シールは使用していません）

何でも口に入れてしまう0、1歳児の特性に気を付けて安全に配慮し、シール遊びを行っています。

こんなモコモコのシールだよ

